

**マイクロアレイ血液検査
注意事項**

- 検査をお勧めできない方
マイクロアレイ血液検査に影響を及ぼす事がわかっている以下のお薬を内服、注射にて投与されている方は検査を受けられません。
 - ・副腎皮質ホルモン（吸入ステロイド剤を除く）
 - ・インターフェロン製剤
 - ・免疫グロブリン製剤
 - ・生物学的製剤（インフリキシマブ：商品名レミケイド）など
 - ・ワクチン（接種直後）

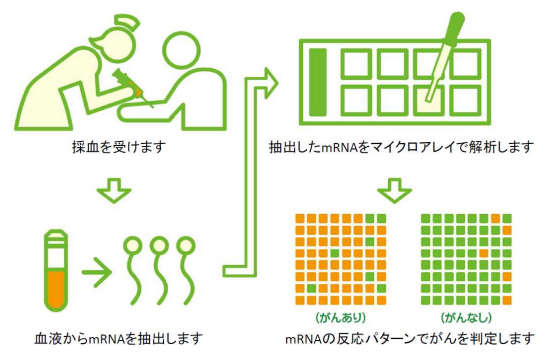
- 検査結果が正しく判定されない可能性がある方
 - ・がんと診断されている（部位は不問）
 - ・自己免疫性疾患（潰瘍性大腸炎、全身性エリテマトーデス、自己免疫肝炎、関節リウマチ等）と診断され現在治療中の方。
 - ・大腸や胃のポリプを切除して1~2年未満の方
 - ・B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルスによる肝疾患と診断されている方
 - ・肝嚢胞、腎嚢胞、胆のう筋腫症と診断されている方

※マイクロアレイ血液検査はがん治療後の再発チェックや抗がん剤の効果の判定には適しません。

マイクロアレイ血液検査とは

胃・大腸・胆道・すい臓のがんを1回の採血で判定

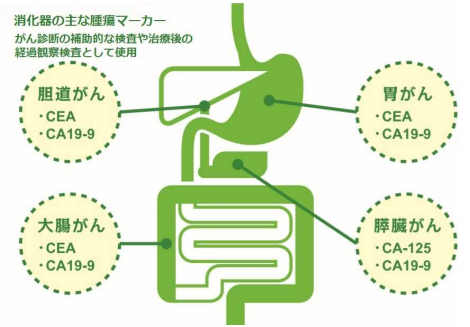
がん細胞を攻撃する際に生じる遺伝物質（mRNA）のパターンを測定することで、がんの有無を遺伝子レベルで判定いたします。胃がん・大腸がん・胆道がん・すい臓がんの4つのがんの有無を1回の採血で判定することができます。



マイクロアレイ検査の特徴

がん細胞への生体反応を直接見るため 90%以上の感度

マイクロアレイ血液検査による消化器がんの有無判定解析は、胃・大腸・膵臓・胆道それぞれのがん患者を対象として、健康な人との比較による臨床試験を重ねました。それにより、従来の腫瘍マーカー検査ではその感度（「がん」と正確に判定）が概ね20%程度と課題がありましたが、マイクロアレイ血液検査による消化器がんの有無判定解析では体の反応を直接見るため、90%以上の感度であり、早期の癌でも陽性反応を示します。



マイクロアレイ血液検査では

消化器がんへの高い感度・特異度

消化器がんの方に本検査を実施 消化器がんでない方に本検査を実施

陽性と判定できた割合 **98.5% (感度)** 陰性と判定できた割合 **92.9% (特異度)**

マイクロアレイ血液検査報告書イメージ

以下の3段階の解析を行い、各がんのリスクを判定します。

血液RNA発現解析結果報告書

①がん・炎症により変動する2,665種のRNA発現量

血液RNA発現解析結果報告書

②消化器がんにより変動する21種のRNA発現量

消化器癌の有無詳細判定

③各臓器のがん症例のRNAの発現パターン

血液RNA発現解析結果報告書

陰性 見本 検体番号 ****-*****

判定結果

陽性です。今後も定期的な検査を受けましょう

精密検査をお勧めします

リスク評価 (有無判定)

消化器全般

リスク低い ←-----→ リスク高い

RNAとは体のすべての細胞にある物質です。健康な状態の時には、体の中でいろいろな種類のRNAがバランスよく働いていますが、病気になるとそのバランスが崩れていきます。このバランスの変化を見ることで、健康状態を調べることができます。

この結果はあなたの健康状態を調べるための一つの参考データです。あなたの健康状態は主治医が他の検査項目を含め総合的に診断いたします。

病歴や疾患、服用している薬剤、体の状態によって検査結果に影響を与えることがありますので、検査の前に問診を行い検査可能か判定します。

マイクロアレイ血液検査費用 85,000 円 (税別)